

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

☐ 台座置き ☒ 壁付

※台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること
※台座のサイズは幅 600 × 奥行 400 × 高さ 1000mm 以内

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



素 材：ガラス
想定重量：800g
サ イ ズ：W800 X H2200 X D 150 (mm)

酸素とガスの混合バーナーを用い、2000℃程の非常に高温な炎でガラスを成形するフレームワークと呼ばれる技法で制作します。

素材はガラスの中でも硬質ガラスと呼ばれるボロシリケートガラス（ホウケイ酸ガラス）を用います。特徴としては、強度の高さや軽量性、耐久性、耐熱性などに優れている点が挙げられます。

今回の展示スペースは比較的小さいエントランスであるため、台座置きではなく、空間のゆとりや広がりを感じられるような壁付けの作品を考えました。

一般的にガラスの作品は重量や危険性などが理由で、大きな壁付け作品は難しいと思われがちですが、恒久性と安全性の両面を満たしたガラス作品にチャレンジしたいです。



壁付け案として、左写真の赤丸で示した棒状の部位を複数箇所壁に固定します。

作品全体を3つのブロックに分けて構成する予定で、1ブロックあたり200～300gの軽さ及び硬質ガラスの強度があるため、安全に設置することができます。

作 品 名	AETHER BLUE			
素 材	ガラス		想定重量	1 kg
作品サイズ	横幅 800	× 奥行き 150	× 高さ 2200	(単位：mm)
作品コンセプト				
エントランスホールの完成予想図を目にしたとき、柱や天井が織りなす厳かな構造に、古代ギリシャのパルテノン神殿を思わせる荘厳さを感じました。				
そこに着想を得て生まれた本作「AETHER BLUE」は、古代ギリシャで天空の神、また光を伝える媒質とされた“エーテル”をモチーフとしています。				
神秘的な青いガラスの蝶たちは、幸運を運ぶ存在として、柔らかな光を受けながら宙を舞い、空間に儚くも鮮やかな生命感を添えます。				
洗練されたエントランスの静寂に寄り添いながら、この作品は光と響き合い、訪れる人の心に静かな風を吹き込みます。ふと立ち止まりたくなるような、日常の中の余白を生み出すことを願っています。				

過去の制作作品

